

都市問題研究第2回国際シンポジウム

「"Stadtteil mit Gemütlichkeit" zu gestalten – Area Management in Osaka und Hamburg」(「住みごたえのある町」をつくる—大阪・ハンブルクにおけるエリア・マネジメント—)

日時：2011年11月1日 16:00～

場所：ハンブルク・ハーフェンシティ大学

<プログラム>

1. KITAMURA, Masafumi: Stadtteilentwicklungsgeschichte von Kujo und ihre Umgebung

(北村 昌史：「九条とその周辺の都市形成史」)

[コメント：ディルク・シューベルト(ハーフェンシティ大学)]

2. TAKANASHI, Tomohiro: Über die Hundertwasser-Architekturen in Stadt Osaka — deren gegenwärtige Lage und Aufgaben —

(高梨 友宏：「大阪市におけるフンデルトヴァッサー建築について—その今日的意義と課題—」)

[コメント：クルト・ラインケン (steg)]

3. KIDO Saori: "Stadtteil mit Gemütlichkeit" für Jungen :Wohnen, Arbeiten und Vergnügen

(木戸 紗織：「若者にとっての住みごたえのある町—住・職・遊—」)

[コメント：ハンス・ヨアヒム・レスナー (steg)]

パネルディスカッション

司会 海老根 剛(大阪市立大学)、ガブリエレ・フォークト(ハンブルク大学)

通訳 海老根 剛、クリストファー・ミットマン(ハンブルク大学)

●主催：大阪市立大学大学院文学研究科、ハンブルク・ハーフェンシティ大学